

動物実験に関する現況調査票

前橋工科大学

令和4年12月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名	学長	氏名	今村 一之
事務担当者	職名	学務課長	氏名	■■ ■■
同 連絡先	TEL	027-265-0111	FAX	027-265-3837
			e-mail	chiiki@maebashi-it.ac.jp
動物実験委員会	職 名	氏 名		
委員長	教授	■■ ■■		
委 員	教授	■■ ■■		
委 員	准教授	■■ ■■		
委 員	准教授	■■ ■■		
委 員	教授	■■ ■■ (外部委員)		
委 員	事務局長	■■ ■■		
			カテゴリー*	
			①、②	
			①、②	
			①	
			①、②	
			①	
			③	

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会のカテゴリー欄*には文部科学省基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
 ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
 ③ その他の学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- ☒ 医歯薬学分野
 ☐ 畜産・獣医学分野
☒ 生物科学分野
 ☒ 理工学分野
☐ その他 ()

2. 年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	29 年度		30 年度		元年度		2 年度		3 年度	
	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数
マウス	999	未集計	520	85	633	64	384	63	329	32
ラット	76	未集計	42	7	46	3	60	2	16	0
モルモット	2	未集計	2	0	2	0	0	0	2	0

(令和4年4月1日 現在)

実施の規模を把握するための資料ですので、使用数、飼養数ともに概数で構いません。

飼養数は、特定の日(令和4年4月1日 現在)で記入ください。

集計困難であれば、未集計として下さい。

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
	15件	21件	27件	32件	27件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
	77人	78人	101人	79人	93人

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数： 10 箇所	施設の総延べ床面積**： ■300 m ² 未満 □300 m ² 以上
--------------	---

** いずれかにチェックを入れてください。

1) 実験動物飼養保管施設

施設の名称	管理者の 職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
動物飼育室1 ・2	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス ラット モルモット	120 20 10

数に応じて、表の行を増やしてください。

2) 実験室及び一時保管施設(48時間以内の一時保管を含む。)

施設の名称	管理者の 職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
生理学実習室 734	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス・ラット	10
第1実習準備 室736	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス・ラット	10
学生実習室738	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス・ラット ・モルモット	30
クリーンルー ム341	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス・ラット モルモット	10
食品機能工学 実験室332	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数25年)	マウス・ラット ・モルモット	10
基礎生物工学	総務課長・	准教授・■■ ■■	マウス・ラット	10

実験室 334	■■ ■■	(経験年数 25 年)		
生物工学科 学生実験室 313	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数 25 年)	マウス・ラット ・モルモット	10
食品機能工学 研究室 354	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数 25 年)	マウス	10
廃棄物保管庫 730-4	総務課長・ ■■ ■■	准教授・■■ ■■ (経験年数 25 年)	マウス・ラット	10

数に応じて、表の行を増やしてください。

施設の所在地

1) 実験動物飼養保管施設

所在地	施設の名称
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	動物飼育室 1・2

2) 実験室及び一時保管施設（48 時間以内の一時保管を含む。）

所在地	施設の名称
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	生理学実習室 734
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	第 1 実習準備室 736
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	学生実習室 738
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	クリーンルーム 341
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	食品機能工学実験室 332
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	基礎生物学実験室 334
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	生物工学科学生実験室 313
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	食品機能工学実験室 354
群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	廃棄物保管庫 730-4

数に応じて、表の行を増やしてください。

飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者および実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すものではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含まれません。

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所（URL）：<https://www.maebashi-it.ac.jp/kouhyou/animal.html>

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

- ☐ 国立大学法人動物実験施設協議会会員
- ☒ 公私立大学実験動物施設協議会会員（会員番号： 009 ）
- ☐ その他（上記の会員ではない）

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL：<https://www.m-kenshou.org/>

- ☒ 行った

9. 特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）